

大阪撮影 インタビュー

2023年4月6日 午前10時～12時 zoomを使用

大阪撮影チーム：井上克彦 小川 茂 辻村琴美

聞き手 広報：東、今村、増田

Q1: 大阪撮影は『蒼黒なる都』の写真でよく知られていますが、そのほかのことはあまり知られていません。全日本学生写真連盟の中でどのように提示され、どんな形で撮影がおこなわれたのか教えてください。

Ans. 1974年10月6日から9日の全日キャンペーン企画合宿で状況を破ろうとサークルごとに集団撮影が全国で企画される中で単独サークルではなく、地区として「大阪」の集団撮影行動に取り組むこととなった。大阪撮影は、変貌していく大阪の街やその中での人々の生き様に向き合い、改めて写真表現を考え、人間としての感覚を取り戻し、それぞれが原点から生きる具体を構築することを目指した。大阪撮影の特徴は、全国にも呼びかけ約50人が参加し、広島や長崎、北海道のように問題のあるところに出かけて行くのではなく、自分たちの生きている足元を撮影した。

Q2: 撮影の回数は？

第一次大阪撮影 1974年10月18日～28日

ルポ：梅田、福島、此花、大正、港、西成、新世界、釜ヶ崎

第二次大阪撮影 1974年12月14日～17日

撮影対象：夜の梅田、若者、街

第三次大阪撮影 1974年12月24日～26日

第1回全国提起

撮影対象：梅田、福島、天六、

“蒼黒なる都”物質文明・近代

第四次大阪撮影 1975年1月10日～12日

アピール作成 撮影対象：福島

第五次大阪撮影 1975年3月26日～28日

第2回全国提起

撮影対象：広く大阪に触れる。十三、天六、釜ヶ崎、飛田、新世界

◆写真展 PHOTO IN Students of Kansai

1975年5月31日～6月5日

大阪撮影“蒼黒なる都”展示、

大阪撮影全国参加者ベタレイアウト展示他

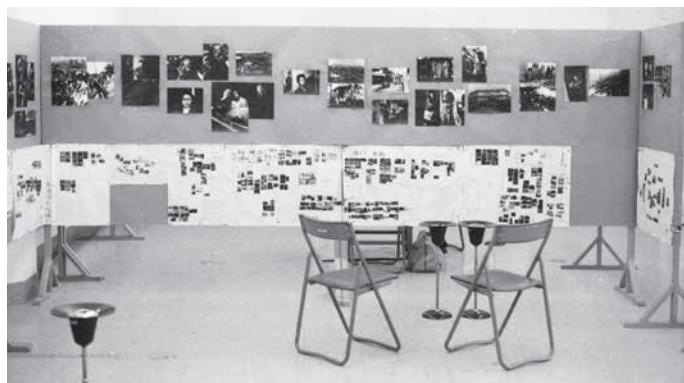
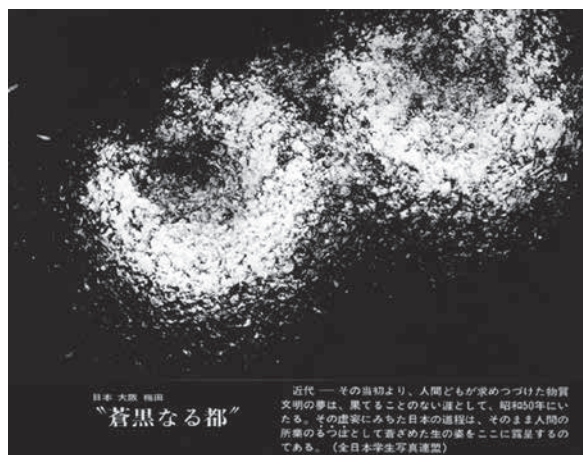


PHOTO IN Students of Kansai の写真展会場とポスター



第六次大阪撮影

1975年7月1日～7日

撮影対象：西成・鶴見橋

フォト・ストーリー、個人史、

出逢うことの大きさ、

コマを廻すこと、長屋シリーズ

第七次大阪撮影

1976年1月8日～13日

撮影対象：十日戎、新世界

年始・カー杯撮ろう、アップ、

踏み込め、景気づけ

第八次大阪撮影 1976年1月20日～2月15日

自主撮影

撮影対象：十日戎、新世界、山王町、放出

Q3: 大阪撮影チームとして最終形はどう考えてますか？

Ans. できれば大阪の地で写真展を開催したい。

AAJPS ホームページ  
<https://aajps.or.jp>





## 美術館プロジェクトからの報告

美術館プロジェクトではAAJPSの写真や資料の収蔵先を探すために全国の美術館、歴史資料館、大学などにリサーチをしています。おもな活動としてはAAJPSの冊子をお送りしてその後、学芸員や関係者の方と対面でお話を聞く形をとっています。3月14日東京都写真美術館学芸員の藤村里美さんにお会いして収蔵の基準や方法などを聞くことができました。以下がその内容です。

- ・東京都写真美術館では基本プリントは収蔵するがネガは著作権に関わるため収蔵しない。
- ・収蔵するプリントは長く保存するのに耐えられるプリントであることが条件。
- ・この美術館ではプリントの収蔵はするが資

- 料の収蔵もあわせてすることはやらない。
- ・東京都写真美術館の図書室であったらAAJPSの写真集、DM、チラシ、資料を預かることはできる。
- ・AAJPSのヴァンテージプリントであったら収蔵するかどうか検討の対象として考えることはできる。
- むしろ国立歴史民俗博物館の方が写真、資料全体の収蔵には向いている。
- ・写真関係の大学よりむしろ社会学に関係する大学の方がAAJPSの方向にあっているのではないか。たとえば立教大学の共生社会研究センターなど。